

士別市子ども議会

～チャレンジ応援事業～

2024

士別市子ども議会つうしん

2024年第4号 令和6年7月11日

発行：士別市教育委員会生涯学習部
中央公民館

企画運営：士別市まちづくり塾7期生
士別市東6条4丁目士別市民文化センター内



令和6年7月9日(火)第4回学習会/ゲストハウス&カフェバー エストアール

ワークショップ① 夢の実現&困り事の解決 事例紹介

■一般財団法人士別市スポーツ協会 丸 孝則さん

- ・当協会では、競技力向上事業「SSA ジュニア育成プログラム事業」を実施しており、道内で「ジュニア選手育成ピラミッド」を作っている自治体はなく道内初となる。
- ・幼少期に行う「SSA バルシューレクラブ」は、ドイツ発祥の運動プログラムで約150種類のボールゲームから、発達段階に応じた様々な動きを経験する。
- ・第2段階では小学生を対象にした「スポーツ協会加盟団体活動」で、色々な競技のクラブチームや少年団活動につながるよう当協会の加盟団体と協力し進めている。
- ・第3段階では、中学生、小学生(高学年)が行う「SSA ジュニアスポーツアカデミー」でチャンピオンを目指すチームに対して、専門家の先生の下で栄養、メンタル、フィジカル、クリニック、メディカルを学び、トップ選手を目指してもらう流れ。
- ・課題として、好きで始めたはずの競技が嫌になってしまう場面がある。この課題に対して、「SSA ジュニア育成プログラム事業」を通してスポーツの楽しさを知ってもらい、スポーツ好きを育てること、また、世界に羽ばたくトップ選手を輩出する夢のため、この事業に取り組んでいる。



■社会福祉法人士別市社会福祉協議会 古川 芽生さん

- ・当協議会では、地域で暮らす様々な方が、困った時や、いざという時に支え合えるような人との繋がりづくりを、地域の皆さん（ボランティア）と一緒に進めている。
- ・人との繋がり・集い場のひとつとして、各自治会等で実施している「サロン」や、地域助け合い活動協議体で実施している「地域食堂」などがある。
- ・これらは1人でできるものではなく、関係団体や地域のボランティアの皆さんと一緒に進めているもの。ボランティアは大人だけではなく、中学生や高校生も活躍している。
- ・昨年、ボッチャ大会の運営や、児童館の夏祭りのお手伝い、学び舎つくも参加者対象のスマホ教室などを実施した。特にスマホ教室では、参加者から「辛抱強く易しく教えてくれて嬉しかった」、「お話ししてくれて気持ちが明るくなった」などの感想があった。
- ・これから皆さんは、何をやるか考えて実践していくと思うが、目の前にいる相手のために何をしたらよいかを考え、行動することによってきっと相手が喜んでくれると思う。



ワークショップ② ホームワーク振り返り～まちづくり塾7期生 泉田

1. 前回(第3回学習会)のホームワークについて

大人1人にインタビュー

・士別のこんなところが変わったらいいなと思うこと

○インタビュー結果

→「働く場所が増えたら良い」、「学校にクーラーが付いたら良い」、「子どもが大人になった時に働ける場所を増やす」、「子ども達が遊べる場所を増やす」、「色々な方に士別へ観光に来てほしい」、「バス助成金が増えたら良い」、「学校のICT設備を充実させる」、「古い建物が危ないのでどうにかしてほしい」など



2. 実践に向けてやりたいことや課題は？

○実践案 ・障がいを持ってる人たちを支えるような仕事をしたい。

- ・学校の校則を改善する。
- ・学校のモニターを更新 (ICT 環境の改善) してほしい。
- ・子どもたちが遊ぶところ (商業施設) がほしい。
- ・何か高齢者のお手伝いとなることをやりたい。
- ・何か寄付することをしたい。
- ・フリーマーケットをしたい。 など

次回は、いよいよ「夢の実現」と「困り事の解決」について話し合いを進め、いよいよ、子ども議員が「何を実践していくか」について整理していく予定です!!